



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 ULSグループ株式会社 上場取引所 東

コード番号 3798 URL http://www.ulsgroup.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)漆原茂

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理担当取締役 (氏名) 高橋敬一 TEL 03-6220-1416

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 一

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無四半期決算説明会開催の有無: 無

百万円未満切捨て

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高 営業利益		益	経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1, 307	29. 4	347	35. 5	351	36. 5	244	44. 3
2019年3月期第1四半期	1, 010	18. 5	256	35. 0	257	34. 9	169	23. 6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 241百万円 (36.1%) 2019年3月期第1四半期 177百万円 (27.5%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	42. 64	_
2019年3月期第1四半期	29. 55	_

## (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	6, 150	5, 348	84. 7	908. 03
2019年3月期	6, 579	5, 251	77.7	890. 96

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,212百万円 2019年3月期 5,114百万円

#### 2. 配当の状況

- 10 - 17 1/70	- HO - 17 MAR							
		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
2019年3月期	_	0. 00	_	25. 00	25. 00			
2020年3月期	_							
2020年3月期(予 想)		0. 00	_	20. 00	20. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

#### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5, 440	△6.7	910	△21.3	910	△21.7	560	△19.7	97. 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載は省略しております。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料 P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記 事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

#### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1	6, 160, 800株	2019年3月期	6 160 000 <del>14</del>	
Q	6, 160, 800休	2019年3月期	6, 160, 800株	
2020年3月期1	420.067##	2019年3月期	420.067##	
Q	420, 867株	2019年3月期	420, 867株	
2020年3月期1	F 720 022 <del>14</del>	2019年3月期1	F 720 022 <del>14</del>	
Q	5, 739, 933株	Q	5, 739, 933株	

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	4
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	5
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
		(継続企業の前提に関する注記)	6
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
		(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、6月日銀短観によると、米中貿易摩擦の激化等による外需依存の企業の景況感が悪化したことにより大企業全産業のDI(業況判断指数)は前回調査より2ポイント悪化のプラス15と2期連続の悪化となるなど拡大基調は継続しているものの幾分弱含みの状態となりました。

一方、当社の属する情報サービス業界については、2019年度ソフトウェア投資計画が、前回調査の前年度比3.3% 増加から10.6%増加 (6月日銀短観:ソフトウェア投資額 (大企業全産業)参照) に大幅に上方修正されるなど、IT 投資の拡大基調が非常に鮮明になっています。

このような経営環境の下で、当第1四半期連結累計期間の経営成績は下記のとおりとなりました。

売上高1,307,198千円 (前年同期比29.4%増)営業利益347,681千円 (前年同期比35.5%増)経常利益351,035千円 (前年同期比36.5%増)

親会社株主に帰属する

244,761千円 (前年同期比44.3%増)

四半期純利益

### 特筆すべき事項は下記のとおりです。

①売上高については、主に建設、金融、製造及びサービス業等を中心とする既存顧客からの堅調な受注による高稼働を継続できたこと、当連結累計期間に作業完了となった案件が例年に比べ多かったことなどにより、第1四半期連結累計期間としては過去最高の前年同期比297,116千円増加(29.4%増)の1,307,198千円となりました。

②損益面については、主に前述の理由に加え、プロジェクトの品質管理の徹底を継続したことにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ347,681千円(前年同期比35.5%増)、351,035千円(前年同期比36.5%増)、244,761千円(前年同期比44.3%増)となりました。第1四半期連結累計期間としては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の全てが、過去最高を記録しました。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主に前連結会計年度末の売掛金の回収により、前連結会計年度末比6.5%減少の6,150,034千円となりました。

また、負債についても、主に前連結会計年度末の未払金等の支払いや賞与の支払いにより、前連結会計年度末比39.7%減少の801,279千円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末比1.9%増加の5,348,755千円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りとなっており、現時点では2019年5月10日に公表しました業績予想に変更ありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 871, 319	4, 123, 199
売掛金	1, 646, 500	889, 993
仕掛品	34, 395	117, 836
その他	66, 856	65, 585
流動資産合計	5, 619, 071	5, 196, 615
固定資産		
有形固定資産	53, 673	48, 699
無形固定資産		
のれん	35, 150	33, 564
その他	3, 810	3, 777
無形固定資産合計	38, 960	37, 342
投資その他の資産		
投資有価証券	549, 721	544, 983
その他	318, 036	322, 396
投資その他の資産合計	867, 758	867, 37
固定資産合計	960, 392	953, 418
資産合計	6, 579, 463	6, 150, 03
負債の部		· · ·
流動負債		
未払金	200, 693	168, 863
未払費用	219, 240	98, 09
賞与引当金	406, 215	100, 37
受注損失引当金	370	_
未払法人税等	303, 067	111, 90
その他	198, 841	322, 043
流動負債合計	1, 328, 428	801, 279
負債合計	1, 328, 428	801, 279
純資産の部		
株主資本		
資本金	845, 490	845, 490
資本剰余金	1, 185, 919	1, 185, 919
利益剰余金	3, 238, 028	3, 339, 29
自己株式	△158, 897	△158, 897
株主資本合計	5, 110, 539	5, 211, 803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3, 527	238
その他の包括利益累計額合計	3, 527	238
新株予約権	1, 240	1, 240
非支配株主持分	135, 728	135, 473
純資産合計	5, 251, 035	5, 348, 755
負債純資産合計	6, 579, 463	6, 150, 034
7 10 11 5 2 1 A H H I		0, 100, 00

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(1 = 114)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1, 010, 081	1, 307, 198
売上原価	584, 018	803, 500
売上総利益	426, 063	503, 697
販売費及び一般管理費	169, 413	156, 016
営業利益	256, 649	347, 681
営業外収益		
受取配当金	_	2, 722
その他	473	631
営業外収益合計	473	3, 353
経常利益	257, 122	351, 035
税金等調整前四半期純利益	257, 122	351, 035
法人税等	84, 248	106, 528
四半期純利益	172, 874	244, 506
非支配株主に帰属する四半期純利益	3, 283	△254
親会社株主に帰属する四半期純利益	169, 591	244, 761

# (四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(第1四半期連結累計期間)		
		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	172, 874	244, 506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4, 359	△3, 288
その他の包括利益合計	4, 359	△3, 288
四半期包括利益	177, 233	241, 218
(内訳)	-	
親会社株主に係る四半期包括利益	173, 950	241, 472
非支配株主に係る四半期包括利益	3, 283	$\triangle 254$

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用 後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。